

協定留学近況報告書

記 入 日	2017 年 5 月 6 日
留 学 先 大 学	シドニー工科大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): , (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2017 年 2 月 - 2017 年 12 月
明 治 大 学 での 所 属	情報コミュニケーション_学部_情報コミュニケーション_学科___専攻 / ___研究科___専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部 2 年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

私は明治大学から初めてのシドニー工科大学(以下 UTS)への交換留学生だったので、UTS での留學生活の情報は提携を組んでいる新潟大学や横浜国立大学などの他大学の留學体験記が参考にしました。また、幸運なことに出発前に UTS から明治大学へ来ていた交換留学生と知り合えたので、彼女には UTS の学生用のオンラインシステム(それぞれの学生に Oh-meiji のような個人関連のウェブサイトがいくつかある)の使い方や、UTS の授業の仕組みを教えてくださいました。準備不足だったと感じた点は、履修に関する情報を曖昧なままにしまったことです。学期が始まってから自分がとれる授業の選択肢が思っていたよりもたくさんあったことを知りました。

VISA の取得などの諸々の手続きは、オーストラリア留學に関する書籍やウェブサイト、過去のオーストラリアの大学への留學体験記をもとに進めました。私は出発前にパスポートや VISA のナンバー、住所などの個人情報と、クレジットカード会社や保険会社、大学などの連絡先をまとめた文書をワードで作成しました。ID ナンバーは様々な場面で要求されるので、情報をまとめた文書はとても重宝しています。複数プリントアウトして日本の親にも渡しておくかと安心です。

II-1. 留學のための渡航前手続き(留學ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: 学生ビザ	申請先: オーストラリア大使館
ビザ取得所要日数: 1 か月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 50000 円程度
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
TOEFL のスコアレポート、OSHC の書類、大学からの CoE	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
オーストラリア大使館のウェブサイトから Immi Account という個人のアカウントを作成し、申請しました。	
ビザ取得の際に、留學先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
大使館での面接はありませんでした。	
ビザ取得に関して困った点・注意点	
申請はすべて英語で、詳細な個人情報やビザ取申請の理由などを書く必要があったので、時間をかけてインターネットで調べながら進めました。自信がない場合はエージェントを頼ってもいいと思います。私は「The applicant does not agree to electronic communication.」という、電子コミュニケーション(Eメール)をとることに対する同意の質問に対して、誤って「同意しない」という選択肢を選んでしまったため、ビザの取得にかなり時間がかかってしまいました。また、12 月後半になると大使館の休業や多数の申請と重なり、通常より時間がかかるので、12 月前半までに申請を終わらせるべきだったと思いました。	

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

携帯電話は日本で契約の休止手続きをして、現在は毎月400円程度のデータ保管料だけ支払っています。銀行口座は日本で使っていた口座と、その口座の VISA デビットカードをメインで使用しているので、あらかじめ準備することは特にありませんでした。基本的に VISA やマスターカードであればどの ATM から引き落としできるので、到着後すぐに新しく口座を開く必要はありませんでした。荷物の配送に関しては、渡航前にあらかじめ送ってもらう冬物などを準備しておいて、SAL 便を利用して送ってもらいました。3 週間ほどかかりました。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	カンタス航空				
航空券手配方法	expedia ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	シドニー空港	現地到着時刻	朝 9 時半ごろ		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	30 分程度				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

UTS の留学生は、オリエンテーションが始まる 2 週間前から、シドニー空港から UTS までのフリーシャトルを利用できます。空港にカウンターがあり、スタッフに UTS の CoE のコピーとパスポートを提示すると車を手配してくれました。この期間外に到着しても自分で空港からセントラル駅まで電車を利用できますが、16 ドルほどかかるのでフリーシャトルが使える期間に到着することをお勧めします。フリーシャトルの詳細な利用方法以外にも、シドニーに到着してからの一連の流れについては UTS のウェブサイトを書いてあるので、出発前に確認すると思います。http://www.uts.edu.au/future-students/international/commencing-students/arriving-and-settling

大学到着日	2 月 20 日 午前 11 時頃
-------	-------------------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 2 月 21 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	UTS Housing のウェブサイトから申請しました。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

住居は渡航前に手配しました。寮費はシドニーに到着した日にハウジングオフィスで支払いましたが、オフィスの場所が分かりにくくて苦労しました。Building6 の裏側の入り口が Yura という寮の入り口になっていて、オフィスの受け付けはその寮の中にあります。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	2 月下旬から授業開始まで	
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須	<input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料(金額:)

内容の様子は？	<p>新学期開始までの期間は寮と大学でそれぞれにオリエンテーションとイベントが毎日いくつもあって、スケジュール的にも体力的にも全て参加することは不可能なほどでした。オリエンテーションと特定のイベント(チケット制のパーティなど)は事前に申し込みが必要なので、UTS から届くメールや周りの留学生の話参考に、参加するものを決めていました。到着直後から毎日様々なイベントがあり、新しい友達もできるので、ウェルカムウィークはとても楽しい期間です。シドニーやシドニー郊外の観光に出かけることができたので、寮のイベントには積極的に参加してよかったと思いました。一方で、オリエンテーションは種類も日程も多すぎるので、参加必須なもの、必要なもの以外は無理にたくさん申し込まなくてもいいと思います。</p>
---------	--

留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
-----------	---

授業開始日	3月13日から
-------	---------

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

特になし

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特になし

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

オーストラリア現地の銀行口座は旅行などで友人同士のお金の貸し借りをした際にトランスファーを簡単にするため、また予備のクレジットカードを持つために commonwealth bank で口座を開きました。カードがデビットカードであることと、アプリを使ったカードレスの引き落としができること(スキミング被害を防げるのでおすすめ)が便利です。手続きは非常に簡単でした。インターネットで口座開設の手続きを済ませ、近所の支店にID(パスポート)を持って行くだけです。カードは1週間ほどで自宅に配送されます。スタッフはとてもフレンドリーで、アプリの使い方も丁寧に教えてくれました。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

日本で使っていた iPhone6 は SIM ロックがかかっているオーストラリアでは Wi-Fi 環境下でしか使えないことが分かったので、私は現地で iPhone7 を購入しました。SIM フリー端末は iPhone 以外なら安く購入できますが、私は使い慣れた iPhone を選びました。端末は JB Hi-Fi という電器屋さんで購入し、SIM カードは Vodafone で購入しました。端末の購入の際には書類は不要です。SIM カードの購入の際は、学生プランを申し込む場合はパスポートと学生ビザなどを求められる場合があります。購入から2か月ほどで iPhone のカメラが破損するトラブルがあったのですが、アップルストアに持って行ったところ、保証期間内で無料で新しい端末と交換してくれました。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(12月20日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

UTS から送られてきたメールに沿って Student Admin というページから履修登録を進めました。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

e-Request という変更願いを申請すれば、変更・追加は可能です。ただ、科目によって状況は違うのでシラバスを読むか、スチューデントオフィスで聞くことをお勧めします。私は特に変更はしなかったのですが、あとから興味のある授業を見つけたので、もう少し履修を考えればよかったと思いました。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00		グループワーク		チュートリアル	講義		
10:00		グループワーク	グループワーク	チュートリアル	講義		
11:00		グループワーク	グループワーク	講義	グループワーク		
12:00	授業前課題		グループワーク	講義	グループワーク		
13:00	授業前課題				グループワーク		
14:00		自習	自習	授業前課題	チュートリアル		
15:00		自習	自習	チュートリアル	チュートリアル		
16:00		自習	自習	チュートリアル			
17:00	講義	自習					
18:00	講義						
19:00	ボルダリング(クラブ活動)						
20:00	ボルダリング(クラブ活動)						
21:00	ボルダリング(クラブ活動)						
22:00							
23:00			授業前課題	授業前課題			
24:00			授業前課題	授業前課題			



Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

シドニー工科大学という名前から、文系の私には縁のない大学だと思っていましたが、UTSは文系学部もかなり幅広い総合大学です。UTSは、広い芝生があるような伝統的なキャンパスではなく、街の中にいくつものビル点在している、という都心ならではのキャンパスのかたちをしています。世界中から留学生が7000人ほど集まっているため、寮は大学の近辺に4つあります。私が住んでいる寮は、比較的小規模なので住民同士の距離感が近いです。また、ブロードウェイショッピングセンターのすぐ近くで生活に便利なお気に入りです。寮も大学も施設は新しく、充実しています。また、授業終わりに散歩がてらダーリングハーバーやサーキュラーキーなどのシドニーの観光地に簡単にアクセスできる都心のロケーションが私はとても好きです。一方、学習面ではとても苦労しています。主な理由は二つあります。1点目は、インターナショナルな寮とは違って、授業では周りがほぼ現地生であるという点です。私はUTSでは情コミで学んでいたことの延長としてコミュニケーション分野を学んでいるのですが、このフィールドには留学生がほとんどいません(エンジニアリング、マネジメント、マーケティングなどは留学生がかなり多いらしいです)。現地生だらけの授業は語学面も教養面もかなりハイレベルで、日本とは比べ物にならないくらい予習・復習しなければついていけない、また、勉強してもついていけないことがある、というのが現状です。2点目は、UTSに来ている日本人留学生のほとんどはオーストラリアンカルチャーコースという英語のクラスを受講しているのです。私のように学部で授業を受けている日本人留学生がごく少数であるということです。現地生たちの中で留学生であること、日本人留学生の中で学部授業を受けているということ、この二つのマイノリティの中で苦労を分かち合う相手がなかなか見つからないことが、状況をより一層ハードにしていると感じます。学習面での苦労は想像以上ですが、オーストラリアの多様性のある社会をもとに異文化コミュニケーションを学ぶことはとても興味深いですし、良い環境に身を置けているという実感もあります。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

シドニーはとても素敵な街です。東京と比べると街自体は小さいけれど、人々は伝統とモダンが混在するシティ、公園、港、いくつもの美しいビーチに囲まれて、とても豊かな生活を送っています。気候も温暖で過ごしやすいです。学ぶ環境を変えるということはとても大切だと思います。電車に乗れば車両の乗客全員の人種がバラバラなシドニーでの市民生活、世界中の留学生と一緒に暮らす寮生活、といったグローバルな生活環境は、私の世界観を確実に大きくしてくれました。アジア人、日本人、女性、として自分自身のアイデンティティを日々考えながら生活することは、コミュニケーションや社会学を学ぶ上でとても貴重な経験になっています。また、生活している中で起こるトラブルや、未経験なことも、自分自身の生きていく力を養ってくれる、たくましくなるチャンスだと感じます。英語で電話することや、お店のスタッフに相談しに行くことには初めはかなり戸惑いましたが、今ではフレンドリーなオーストラリア人に助けをもらうことで、人との関わりを持つことを嬉しく感じます。周りの人に頼ることがこんなに自分を成長させてくれるとは思っていませんでした。UTSでの日々の勉強はとても大変ですが、大学の学習面のサポートはとても手厚く、助けられています。例えばUPASSという先生ではなく上級生が学習をサポートしてくれる制度や、ライティングや英会話のクラスはほとんど毎日開催されています。そのほかにも、寮の充実したイベントや、きめ細かいサービスはUTSへ留学に来てよかった、と思える要素の一つです。私は明治大学から初めての派遣ということもあって、渡航前の不安はとても大きかったのですが、思い切ってUTSへの交換留学を選んで本当に良かったと思っています。交換留学は準備の段階から、語学試験や面接や複雑な手続きなどのたくさんの壁がありますが、ぜひ前向きに取り組んでほしいです。そして、その留学準備の経験は、自分のためだけでなく、いつか他の人にも役立つ経験になる、ということ意識してみてください。UTSへの留学体験談がゼロだった私には、経験者の存在のいかに大切かがよくわかりました。困難やプレッシャーも、あとから振り返れば清々しい有意義な経験になることを信じて、頑張ってください。私自身も、残りの留学生生活を悔いのないよう精一杯努力して過ごしたいと思っています。

